

ベシアジアグループが加速させるDX

データ活用と人材育成で変革を起こす

カインズ、ワークマンなど物販チェーンを中心に展開するベシアジアグループは、はりねずみ経営というユニークな経営方針の元で発展し続けている。今回はデータ活用とデジタル人材育成について、株式会社ベシアジアグループソリューションズ 代表取締役社長 樋口 正也 氏にお話を伺った。

ベシアジアグループが全社を挙げて推進するDX

ベシアジアグループは現在 30 社、店舗数 2000 を超える大規模小売企業グループです。一兆円規模に成長できた要因は、分社経営、プライベートブランド（以下、PB）化、そして IT 戦略の 3 つです。さらに DX をグループ全体で加速させるべく、2022 年に「ベシアジアグループデジタルアカデミー」を開始しました。顧客体験のデジタル化を推進するとともに、社員教育も充実させ、DX 人材の育成に注力しています。

ニーズ予測から商品企画まで、データ活用の実践事例

ベシアジアグループは、はりねずみ経営というユニークな経営方針の元で他社にはない強みを発揮しています。2021 年には AI を研究・開発する専門部署「AI Lab チーム」を発足し、膨大なデータをもとにお客様満足度を最大化するための取り組みを行っています。

ワークマンやベシアジア、カインズなどの業態では需要予測のモデルが異なります。生鮮品を扱うベシアジアでは、賞味期限の問題もありいかにロスを削減するかが大きな課題です。ワークマンの場合はワークマン製品が好きで継続して発信してくれるアンバサダーがいます。差別化した商品を作るために、口コミをは

じめ、アンバサダーの投稿に対するリアクションやコメントなど、お客様の声を収集・分析する仕組みに生成系 AI 同様に言葉である自然言語を分析する仕組みを活用しています。このように幅広い業務で AI を用途に応じて活用しています。

制度改革で内外からデジタル人材を拡充

グループ横断的に必要なセキュリティやクラウド、サプライチェーン、基幹システムなどに加え、デジタル人材育成と採用も重要です。私は社員のモチベーションアップのための働き方改革、人事制度の見直しも DX 重点分野と考えています。例えば、社員の服装の自由化。私も勤務中はカジュアルな服装をしていますし、グループ内各社の経営陣も自社製品などを着用しています。また採用においては 1 次面接で社長が面接官になり、これまでの採用フローを逆転させました。さらに社員が自分の職務の 2 割は別の業務ができる「テックバンジー制度」を導入しています。業務外の分野へ挑戦でき、社員は本気で取り組んでいます。また資格取得にかかる費用も会社が負担するなど、さまざまな取り組みをしています。

産学連携と地域活性化の好循環

今後はベシアジアグループの取り組みを産学連携へと広げていきたいです。例えば AI Lab のハンズオンは活きた教材となり、学生の皆様のキャリアが拓け、それが良い人材育成、さらには地方創生に繋がると 생각합니다。

またカインズ、ベシアジアの広大な店舗は、買い物の場、地域に雇用を提供するだけではなく、災害時の避難所や EV ステーションとしても機能し、小売りの在り方も新しい発想を持って地域貢献に寄与してまいります。



樋口 正也 氏

株式会社ベシアジアグループソリューションズ
代表取締役社長

取材協力：(一社)ビッグデータマーケティング教育推進協会

(一社)ビッグデータマーケティング教育推進協会事務局はTCE財団の検定事業に賛同します。

学生がビッグデータ分析に基づく販売促進企画を発表

「Dream成果発表会2023年度前期」開催 [PR]



Dream成果発表会 2023の概要

(一社) ビッグデータマーケティング教育推進協会 (以下、Dream) は 9 月 21 日に掲記の発表会を開催しました。本発表会は Dream 認定「データマーケター養成講座」の授業成果と学生の実力を広く知っていただくことを目的に、各校が授業内で取り組んだ「販売促進企画」を学生の皆様より発表いただきました。

審査はデータマーケティングに携わる企業および Dream 理事が行い、評価ポイントが高かった上位 3 チームが表彰されました。

上位3チームの結果発表

審査の結果、第 1 位は「情報ビジネス

コース 2 年Cチーム」(アルスコンピュータ専門学校)、第 2 位は「ふりかけ隊」(専門学校岡山情報ビジネス学院)、第 3 位は「パワフルユニゾン」(専門学校岡山情報ビジネス学院)が受賞。

第 1 位のアルスコンピュータ専門学校では「青パパイヤ」をテーマに、地元の農家と連携し、売上を向上させる企画を発表。今回ご協力いただいた青パパイヤ生産者の方も発表会を見学され、以下のコメントをいただきました。

「学生たちの熱意とデータ分析力、課題解決力の高さを感じました。学生の皆様から提供していただいた『青パパイヤ』の POP は3店舗の直売所で

効果を発揮しています。」

審査員からの評価と次回の展望

全体講評として審査員からはデータを上手く活用し、地域経済の活性化や既存商品の新しい切り口を探していた点を高く評価をいただきました。また、プレゼンテーションの工夫やデータ活用の方法についてのアドバイスもあり、学生達の成長と地域への貢献に期待が寄せられました。

次回の成果発表会は、2023 年度後期にデータマーケター授業を実施した学校を対象に、2024 年 2 月に開催される予定です。

学校名	チーム名	テーマ
専門学校岡山情報ビジネス学院	びーすふる	未来に羽ばたくちーず
アルスコンピュータ専門学校	情報ビジネスコース2年Aチーム	「太陽の街」星川シンボルロードから全国へ
麻生情報ビジネス専門学校	Team Creation	電気自動車の需要と普及について
専門学校岡山情報ビジネス学院	パワフルユニゾン	この素晴らしいシチュエーションに祝福を！
アルスコンピュータ専門学校	情報ビジネスコース2年Cチーム	熊谷特産物「青パパイヤ」から熊谷を盛り上げよう！
専門学校岡山情報ビジネス学院	ふりかけ隊	ふりかけ大作戦
アルスコンピュータ専門学校	情報ビジネスコース2年Bチーム	「ラグビータウン」熊谷に、もっと県外から人を呼び込もう！

お問い合わせ

(一社) ビッグデータマーケティング教育推進協会 事務局

TEL: 03-3436-2057 <https://jp-dream.or.jp/>

Dream事務局はTCE財団の検定事業に賛同します。

RPAの学習を通じて汎用的なデジタルリテラシーを 全国各地の専門学校でRPA活用の授業がスタート



一般社団法人日本 RPA 協会 LX 人材育成部会では、地域や業界に根差しデジタルテクノロジーを活用する人材の育成を行っています。その活動の一環として専門学校向けに RPA カリキュラムを開発しました。本カリキュラムは「講義」「ハンズオン」「ワークショップ」の3部構成になっています。上記学習により、「RPA を理解し、将来的な業務にて RPA を使いこなすことができる人材」、そして「新たに触れるデジタル技術にも適応し、業務においてそのデジタル技術を使いこなすことができる人材」の育成を目指します。

2023 年 10 月以降、本カリキュラムは順次全国の専門学校様にて採用いただき、授業を開始しています。修了生の活躍が楽しみです。今後は RPA ユーザー企業などを交えた産学連携の取り組みも加速して参ります。

RPAカリキュラム導入校コメント 国際電子専門学校

ICT マネジメント科 島袋 誠友先生

「当校では、ICT マネジメント科の3年生の授業に導入しました。RPA カリキュラムの学習を通じて、学生に問題発見能力・問題解決能力を兼ね備えた人材に成長、将来様々な企業でDXによる『業務効率化』や『働き方改革』の推進役として活躍してもらいたいと思っています。」

新潟コンピュータ専門学校

AI システム科 江村 智史先生

「当校では、昨年、全学科教員への RPA 授業のトライアルを実施しました。その結果、どの仕事においても、作業を効率化させるソフトを理解することや、日頃から定型業務を見つけ出し、自動化する習慣を身に着けることが重要であると実感しました。まずは、情報システム科、AI システム科、IT

総合学科の情報系学生 46 名に対して、授業導入することを決めました。」

RPA カリキュラムについては、随時オンラインでの説明会を実施しており、次回は2024年1月26日となります。お申込みは以下の QR より専用フォームへ必要項目を入力の上、送信してください。地域の DX 推進と授業への反映をご検討いただいている学校の皆様には、是非ともご参加賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

▼お申込みはこちら



国際電子専門学校



新潟コンピュータ専門学校

お問い合わせ

一般社団法人日本RPA協会
LX人材育成部会事務局

Mail : lx_dhr_contact@rpa-japan.com

LX人材育成部会事務局はTCE財団の検定事業に賛同します。

最先端企業を知り、学生がIT業界を肌で感じる機会に 新潟コンピュータ専門学校 東京研修を開催

ビーアライブでは IT・ビジネス分野の専門学校の学生に、業界や職種への理解を深め、就職活動に役立てていただくことを目的に「東京での企業研修」の企画・運営を行っています。

10月17日からの2日間は、新潟コンピュータ専門学校様の東京研修に協力させていただきました。



企業訪問

これから就職活動を目前に控えた学生の皆様を中心にご参加いただきました。現役のエンジニアや人事担当者による企業説明や社内見学、学生同士によるグループワークを実施。企業の最新技術に触れ、IT企業での働き方や求められる人材像について学びました。

株式会社テクノプロ テクノプロ・デザイン



グループワークを実施

三井物産セキュアディレクション株式会社



質疑応答の様子

日本 IBM 株式会社



AI 搭載犬型ロボット「Spot」が登場

<3社合同交流イベント>

本イベントでは、IT 企業 3 社の採用担当者およびエンジニアによるトークセッションと学生の皆様が直接交流できる座談会を実施。座談会はグループに分かれて、企業の方との自由な雰囲気の中で質疑応答を行えるため、業界や職種への理解を深めることができ、IT 企業と学生との距離が縮まる良い交流となりました。

【参加企業】

株式会社 S.E.C

コベルコソフトサービス株式会社

株式会社リブゲート



3 社合同交流イベント開催の様子

今回の東京研修でさまざまな IT 企業や活躍している社員、実際の現場に触れることで、学生の皆様のキャリアを考えるきっかけ、そして学習意欲を高められる機会となれば幸いに存じます。

貴校のご希望の日程や分野、訪問先などをお伺いしたうえで、最適な企業の選定と時間調整を行います。貴校の東京研修を充実させるために、ぜひビーアライブまでご相談ください。

お問い合わせ

株式会社ビーアライブ

Mail : event@b-arrive.jp URL : <https://www.b-arrive.jp/>

株式会社ビーアライブはTCE財団の検定事業に賛同します。

IT力向上に役立つ！専門学校1年生でも取り組める Essentialsシリーズ取得のススメ

Linux Professional Institute (LPI) は、IT 初心者や学生の皆様向けに Linux や IT 分野への理解を深めるための認定資格プログラム Essentials シリーズを展開しています。Essentials シリーズは基礎知識や技術を短期間で体系的に学べるというメリットがあり、多くの学校や企業で年々認定者が増えています。

Linux Essentials

「Linux Essentials」は、Linux の基本的な知識とスキルをカバーした OS に関する技術を証明する認定です。入門レベルの資格ですが、Linux の基礎知識や操作方法を通して、ICT の一般的な知識として活用することができます。また、スキル標準ユーザー協会の ISV Map でも Level 0 の認定として位置付けられています。

Web Development Essentials

昨年 Web プログラム開発の入門認定「Web Development Essentials」をリリースしました。この試験は Web 開発の肝となる内容が網羅されています。HTML、CSS、Javascript、Node.js、SQL など、フロントエンド・バックエンド開発に必要な基礎知識を 1 つの資格で体系的に学ぶことができ、

Web アプリケーション開発の基礎を身につけることができます。

Security Essentials

そして今年9月に初心者向けのITセキュリティ認定「Security Essentials」の日本語試験をリリースしました。この認定は、ITセキュリティを初めて学ぶ学生、ITセキュリティの向上を目指す組織などを対象とし、ITセキュリティのすべての重要な分野における基礎知識をカバーしています。専門学校でのセキュリティ教育の入門的な資格として取り入れていただきたい内容となっていますので、ぜひご活用ください。

LPI日本支部では、YouTubeやオンラインセミナーにて学習をサポートしています。オフィシャルWebサイトでは、無料学習コンテンツも用意しています。ま

た、パートナーの Web サイトで学習ノウハウや合格体験記なども掲載されており、資格取得の為の準備が整っています。随時コンテンツも追加していきますので、学生の皆様にもご活用いただきたいです。

これらの技術はフロントエンドエンジニアを目指す学生だけでなく、バックエンドエンジニアやインフラエンジニアなどの IT エンジニアを目指す学生にとっても価値のあるものです。ぜひトライしていただきたいです。

LPI日本支部公式サイト



**LINUX
ESSENTIALS**



**WEB
DEVELOPMENT
ESSENTIALS**



**SECURITY
ESSENTIALS**

お問い合わせ

Linux & OpenSource Academic partner's forum 事務局 (株)ビーアライブ内)

Mail : lpi-cp@b-arrive.jp

当事務局は、TCE財団の検定事業に賛同します。

「映像制作」をテーマにUE最新情報を提供

第10回Unreal Engine エデュケーションサミット開催

11月10日に掲記イベントをオンラインで開催しました。今回は映像制作をメインテーマとし、前半は学生様を対象にUnreal Engineの最新情報と特別講演をお届けしました。全国から180名以上の学生の皆様に参加し、リアルタイムでレンダリングが

できるUnreal Engineの強みや可能性について感じていただきました。後半は教員の皆様を対象とした映像制作のカリキュラム提案と、「Unreal Engineを利用したCG・映像制作」についてパネルディスカッションを実施。約40名の教員の方が

ご参加くださいました。バージョン管理やアセット購入方法など、具体的なトピックについてお話しいただき、今後の授業に役立つ情報交換となりました。



お問い合わせ

UEエデュケーションサミット事務局
(株式会社ビーアライブ内)

Mail : ue_summit@setten.sgsec.or.jp

当事務局はTCE財団の検定事業に賛同します。

RPAを中心とした産学連携【LX人材育成部会】

第4回例会を開催

11月14日に全国の専門学校の教職員を対象とした掲題イベントをオンラインで開催しました。今回は、RPAテクノロジーズ社主催「デジタルレイバーグランプリ 2023(通称D1グランプリ)」での企業のRPA活用

の盛り上がり状況をご報告しました。また D1 グランプリ出場企業より、企業内での実情をご紹介。小回りのきくロボットを数多く稼働させ、現場は DX 人材へと進化し、成果を創出していました。そして昨今急

速にビジネスでの活用が進んでいる生成 AI (ChatGPT など) の企業活用事例やその人材教育課題について、各登壇企業より発表いただきました。

LX 人材育成部会は今後も産学でデジタルを活用できる DX 人材育成を進めてまいります。



お問い合わせ

一般社団法人日本RPA協会
LX人材育成部会事務局

Mail : lx_dhr_contact@rpa-japan.com

LX人材育成部会事務局はTCE財団の検定事業に賛同します。

就職力を高めるMCPC総務省後援検定

スマートフォン・モバイル実務検定／ワイヤレスIoTプランナー検定

就職力を高めるモバイルコンピューティングシステム(MCPC)のスマートフォン・モバイル実務検定とワイヤレスIoTプランナー検定について紹介します。

スマートフォン・モバイル実務検定は、スマートフォン・モバイル端末に関する基本的な知識、消費者保護に関する知識などについて問います。総務省の後援を受けており、携帯電話業界唯一の認定資格試験です。この資格を取

得することで、スマートフォン関連の業界などへの就職に有利になると期待されています。

ワイヤレス IoT プランナー検定は、DX、IoT の技術的知識とビジネス知識を認定する資格です。将来、企業、自治体、諸団体などで DX 推進に向け IoT 活用を進める方のための認定資格です。この資格も総務省の後援を受けており、取得することで、一般の会社にも就職が有利になります。



ワイヤレスIoTプランナー検定テキスト

お問い合わせ

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム (MCPC)

TEL. 03-5401-1935 <https://www.mcpc-jp.org/>

MCPCは、TCE財団の検定事業を応援します。

業界・企業研究および職業観の醸成を目的としたIT系専門学校対象41社合同オンライン授業を実施

ビーアライブは全国のIT系専門学校42校を対象に、掲記の授業を開催しました。

本授業参加校のYIC情報ビジネス専門学校 情報システム科 学科長 柳川 小次郎先生は「多種多様な企

業・職種を学生に紹介でき、地方の情報系専門学校生にとって、交通コストゼロで色々な企業を知るメリットは大きい。本学科も東証上場企業に就職する学生が多数出ただけでなく、エンジニア職種での就職率

も非常に上昇した」とコメント。

また、東京電子専門学校の情報学部 砂賀 勝己先生によると「録画視聴で導入し、専門用語などはビデオを停止し解説。学生が苦手とする志望動機の参考ポイントや、各社の特徴を伝えられた」とのこと。学生の皆様の就職活動の一助になれば幸いに存じます。



YIC情報ビジネス専門学校



東京電子専門学校

お問い合わせ

株式会社ビーアライブ

Mail : event@b-arrive.jp

URL : <https://www.b-arrive.jp/>

株式会社ビーアライブはTCE財団の検定事業に賛同します。

第8回セキュリティコンテスト最終審査結果発表 [PR]

MBSD Cybersecurity Challenges 2023



全国の専門学校・高等専門学校を対象としたセキュリティコンテストの最終審査会を2023年12月15日に開催しました。全国18校、55チームの応募があり、書類審査で選ばれた10チームがプレゼンテーションを実施しました。

結果は、最優秀賞 新潟コンピュータ専門学校「復活の電子遊戯部」、第2位 YIC情報ビジネス専門学校「塞翁が馬」、第3位 情報科学専門学校「Bananacat」。

受賞されたチームの皆様、おめでとうございます!今回の経験で学生の皆様はさらにセキュリティへの関心を高め、自身のキャリアを考えるヒントになったことでしょう。今後もコンテストを通じ、セキュリティ教育に貢献できるようとともに企画していきます。



最優秀賞 新潟コンピュータ専門学校「復活の電子遊戯部」

頭が真っ白になるくらい、感無量です。開発メンバーを中心にツールを作成し、データサイエンスを学ぶ学生がプレゼン面をフォローするという役割分担で取り組みました。1位になれてとても嬉しいです。ありがとうございました。



第2位 YIC情報ビジネス専門学校「塞翁が馬」

第2位受賞は予想もしていなかったもので、とても驚いています。自分達でテストサイトを構築し、事前に検証し、その結果をふまえてツールを改善した点を審査員の方にも評価いただき、大変嬉しいです。ありがとうございました。



第3位 情報科学専門学校「Bananacat」

私はスピーカー役で最終審査会に参加しました。ブレーンとして開発を進めてくれたメンバーをはじめ、全員でやってきたことを今日プレゼンで伝えることができ、3位という結果につながって良かったです。ありがとうございました。

お問い合わせ

セキュリティコンテスト事務局

TEL : 03-3436-2035 Mail : mbsd@setten.sgec.or.jp

当事務局はTCE財団の検定事業に賛同します。

専門学校と経営 | 通信

No.21 2023年12月発行 (年4回)

■本誌記事内容に関するお問い合わせ

【専門学校と経営】事務局

〒105-0021 東京都港区東新橋2-18-3 ルネパルティエ汐留906 (株式会社ビーアライブ内)

[TEL]03-3436-2035 [Mail]setten-info@sgec.or.jp [URL]https://setten.sgec.or.jp/

協力：一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 (TCE財団) 事業部事業課 検定試験センター

「創る」「使う」「伝える」
情報検定 J 検
URL <https://jken.sgec.or.jp/>

ビジネス能力検定 B 検
Jobpass
ジョブパス
URL <https://bken.sgec.or.jp/>

●【専門学校と経営】は、TCE財団の検定事業 (J検・B検) と連携して、専門学校の産学連携を促進する様々な取組について情報発信しています。